

黒星病芽基部病斑の発生について（号外第3号）

発生量は過去2カ年より多発！病斑除去の徹底を！！

平成30年4月28日
富山農林振興センター
なのはな農業協同組合

4月27日に、黒星病対策プロジェクトチームで「黒星病芽基部病斑」の発生状況を調査したところ、過去2カ年に比べ発生量は多い状況です。

芽基部病斑も、黒星病の一次感染源となりますので、見つけ次第速やかに除去し、園地外で処分して下さい。



りん片の脱落が不十分な芽は病斑である可能性が高い！！

表 「幸水」における芽基部病斑発生率（％）

調査年	吉作	吉作山手 追分	住吉	老田 境野新	池多・黒河 櫛田
H30	10.1	9.4	6.3	11.5	11.3
H29	3.6	3.0	3.2	5.2	3.4
H28	0.6	0.2	0.1	0.7	1.7

表 「豊水」における芽基部病斑発生率（％）

調査年	吉作	吉作山手 追分	住吉	老田 境野新	池多・黒河 櫛田
H30	12.0	8.0	11.4	12.0	4.6
H29	4.8	1.3	0.0	0.6	0.6
H28	0.4	0.0	0.1	0.5	0.8

※ なお、1つの芽基部病斑からは、5月末まで何度も胞子を放出しますので、黒星病の感染・発病を防止するためには、早急な除去が極めて重要です。